

Course number		U-LAS14 10007 PJ68						
Course title (and course title in English)	生物学実習Ⅲ [細胞と分子生物学コース] Experimental Practice in Biology III [Experiments in microbiology and molecular biology]			Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,MIYASHITA HIDEAKI Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor,TSUCHIYA TOORU Graduate School of Agriculture Associate Professor,KAMIKAWA RYOUMA			
Group	Natural Sciences			Field(Classification)	Biology(Introduction)			
Language of instruction	Japanese			Old group	Group B		Number of credits	2
Number of weekly time blocks	2	Class style	Practical training (Face-to-face course)		Year/semesters	2024・First semester		
Days and periods	Mon.3・4		Target year	Mainly 1st & 2nd year students		Eligible students	For all majors	
[Overview and purpose of the course]								
本実習はミクロ系生物学の基礎的な実験手法を修得することを目的とする。具体的には、身の回りの微生物観察や培養および分子生物学実験よりなる。微生物は、あらゆる環境に棲息し、人間活動に深く関わっている。身近な微生物の観察、分離・培養を通して、微生物の多様性について認識するとともに、微生物の取り扱いにおける基礎を修得する。また、分子生物学実験は、すでに現代社会と密接に関係した生命科学の基礎を担っている。たとえば、iPS細胞に代表される再生医療、世界で広く流通している遺伝子組換え作物創成において分子生物学実験の知識は必要不可欠である。分子生物学実習ではDNAの調製や解析を主として行う。								
[Course objectives]								
身近な微生物の多様性を知り、微生物の取扱いに関する基本的実験方法を習得する。また、分子生物学の基礎的な実験手法を習得する。								
[Course schedule and contents)]								
1．ガイダンス 2．顕微鏡の使い方 3．微生物の観察1（発酵食品中の微生物） 4．微生物の観察2（環境中(室内・室外・ビオトープなど)の微生物） 5．実験器具の滅菌、培地の調整・滅菌1（試薬の計量、分注器の使い方、オートクレーブ法） 6．培地の調製・滅菌2、寒天平板の作製 7．食品、土壌、その他からの微生物の分離（希釈の方法、線画法、塗布法） 8．分離した微生物の観察1（生菌数計数、コロニーと細菌形態の観察、グラム染色、ペーパーディスク法による抗生物質の評価） 9．分離した微生物の観察2、ペーパーディスク法による抗生物質試験 10．分離した微生物の観察3、抗生物質試験の評価 11．生物からのDNAの調製 12．PCRによるDNAの増幅と制限酵素によるDNAの切断 13．電気泳動によるDNAの分析 14．DNAの塩基配列の解析								
実習内容の順序は前後する可能性がある								
-----								
Continue to 生物学実習Ⅲ [細胞と分子生物学コース](2)								

生物学実習Ⅲ [細胞と分子生物学コース](2)

**[Course requirements]**

1 回目の授業（ガイダンス）を吉田南 2 号館 2 階の生物実習室 2（D211）で行う。履修希望者は必ずガイダンスに出席し、受講許可者名簿に所定の事項を記入すること。1 回目の授業時に、履修希望者が受入れ可能人数を超過した場合には抽選を行う。

**[Evaluation methods and policy]**

実習への参加状況および実習後のレポート内容に基づいて評価する。  
詳細は授業で説明する。

**[Textbooks]**

使用しない。ただし初回の実習の際に実習書のプリントを配布する。

**[Study outside of class (preparation and review)]**

ガイダンスの際に実習書を配布するので、実習前に予習すること。実習後は実習によって得られた結果等を整理すること。

**[Other information (office hours, etc.)]**

詳細については、履修受付の際に案内する。  
文系の学生にとっても難しくない。  
受講者は傷害保険（学生教育研究災害傷害保険）へ加入すること。